

日本海ケーブルネットワーク株式会社（NCN）

2024年度放送番組審議会議事録

■ 日時：2025年2月27日（月）午後1時半～3時

■ 場所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■ 出席者

審議委員：河村壮一郎（会長、鳥取短期大学教授）、佐々木千代子（副会長、いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長）、植田孝二（鳥取市企画推進部秘書課広報室室長）、山本英明（倉吉市総務部企画課長）、石井和志（三朝町企画健康課）、寺本謙吾（岩美町総務課係長）、藤井博美（三朝区長）、須田耕平（鳥取銀行経営統括部企画グループ調査役）、岡田美恵子（岩美まちづくりの会幹事）、福田京子（地域づくりネットワーク代表）、清水まさ志（鳥取大学地域価値創造研究教育機構准教授）

*役職は当日現在、敬称略、順不同

NCN：西尾広海（専務取締役）、吉田幹也（取締役）、尾崎佐和子（メディア推進部部长）、森田拓也（メディア推進部編成制作課主任）

■ 報告事項

① 2024年度の取り組みについて

レギュラー番組や特別番組など2024年4月から2025年2月までの番組制作の取り組みを報告した。

② 2025年度の取り組みについて

新年度に向けた取り組み方針を報告した。

■ 協議事項

（委員）

・「食べる番組が無い。食べる番組には罪が無い。そういう幸せな番組をなぜやらないのか。鳥取や倉吉エリアの食堂やレストラン、ラーメン屋を取り上げると番組は一年持つ。その辺りも検討してほしい」

・「鳥取で〇〇やってみた」で出演者が口にした「米に合う」という発言が気になった。言葉のちょっとした使い方は気になる。

・「トリノメセン」をリニューアルしたという報告があったが、一部BGMにロックの音楽が使用されていた。その回は静寂を楽しむがテーマだったが、なぜロックだったのか。編集の仕方をもっと考える必要がある。どうせなら英語歌詞の曲を使用しては。

・「どうなっとなりますか」のMCがおちゃらけすぎ。声が高くて変なものの言い方をする。出演者は真面目に答えているが、茶化したものの言い方をしているので、番組に対する違和感が強い。

(事務局)

・「どうなっトりますか」は視聴者からも非常に不快だという意見をもらっている。この番組は3月でいったん終了することになっている。4月からは新番組にする予定。

「トリノメセン」についてもBGMの使い方はご指摘通りで、食べる番組も以前より少ないが、コロナ禍も終わったのでぜひ増やしていきたい。言葉遣いについてはちょっとした言葉遣いが耳につくのはあることだと思うので、言葉一つ一つを大切にしていきたい。

(委員)

・「とっとりCAな会ちゃんねる」はANAからの働きかけにより実現したということだが、受身的な感じを受けた。ケーブルテレビとしてのねらいはあったのか？
またユーチューブチャンネルの活用の仕方はどうなっているのか？

(事務局)

・ANAからの働きかけというのは確かだが、スタッフはNCNで兼業CAとして丸3年在籍している。ANAと一緒に何かできたらということを探している中で、ANAからも声がかかり、ぜひ一緒にやろうということになった。

ユーチューブはテレビと表現が違うのでCAな会チャンネルについても表現方法を考えながら、一方でテレビでも放送するので、どういう風に展開していくのかを意見交換しながら現在も作っている。

・ユーチューブチャンネルについては、現状中々できていない。しゃんしゃん祭りの中継を毎年やっているのと、去年は石破総理の出馬会見を中継した程度で、日ごろからの活用はできていない。来年度以降どういう形がいいか考えていきたい。

(委員)

・人を紹介する番組でも移住者や地域おこし協力隊の人ばかりでなく地域に根付いている人を取り上げて欲しい。人口流出が激しい中でも地域で頑張っている若い人もいるのでそういう人にもスポットライトを当ててほしい。

・テレビの番組表をもう少し具体的に詳しく書いてほしい。

(委員)

・トリノメセンも随分分かりやすくなった。

・しゃんしゃん祭りの中継の時のインタビューが気になる。意気込みを最後に聞くべき。

(委員)

・県内の公共交通機関の利用者数がかなり厳しいので、バスを利用しての体験的な番組があるといいかなと思う。

(委員)

・ズームアップとっよりは以前にも同じような趣旨の番組があったように思う。
・「鳥取で〇〇」は個性の強いキャラクターだが嫌味な感じはしない。
・「部活がんば」は華々しい活躍をしている部以外も取り上げてほしい。テレビに出ることでモチベーションアップにつながると思うので。
・チアフル鳥取が「おじの語るシス」で取り上げられていた。地元で活動するチームなのでこういうチームはどんどん取り上げてほしい。

(委員)

・トリノメセンなどの番組は、広く社会の人にも伝えた方がいいと思うので、通信での放送コンテンツとしてはありだと思う。
・災害や犯罪などが社会問題となっているので防犯啓発の番組も作ってほしい。

(委員)

・鳥大サイエンスアカデミーの研究室紹介動画をまちネタでも放送してもらった。カメラの使い方なども学生に教えてもらうなど、学生の人材育成の面で非常に助かっている。

(委員)

・スポーツの生中継や若い世代の活躍している場面は今後もぜひ取り上げてほしい。
・行政からの情報も番組で取り上げてもらえるよう、こちらも取り組まないといけない。

(委員)

・グルメ番組をつくるのであれば、ただ作るのではなく地域らしさをもっと出していつてはどうか。

以上